



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

January 2022

ご挨拶



一般社団法人
日本インプラント臨床研究会
会長
田中 譲治

新年のご挨拶

長引くコロナ禍ですが、会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと存じます。一日も早い新型コロナの終息を願っております。このような状況であります、当会としては後退せずに with コロナで前進できるように検討を重ね企画運営しておりますが、滞りなく遂行できていることは、皆様方のご理解とご支援のおかげと心から感謝申し上げます。

当会の最重要行事である全員発表研修会においても、恒例の泊まり込み勉強合宿とすることはできませんでしたが、1つの研修施設の研修会とは思えないポスター発表126演題という多くの演題を頂き、第15回という節目にふさわしく盛会におこなうことができました。おそらく参集とオンラインのハイブリッドでありながら、参加者全員の投票によるオリピックにちなんだ部門別の金、銀、銅メダルの選出など、趣向を凝らした研修会は他にはないのではと思います。皆様方のご協力と実行委員の先生方のおかげと厚くお礼申し上げます。次に、「インプラントハイジニスト育成コース」10周年記念ということもあり、力を入れて頂いた「インプラントハイジニストのための実践セミナー」においても、300人を超える参加者となり盛会に終えることができました。歯科衛生士委員会委員長の鈴木郁夫先生はじめ関係各位に心より感謝申し上げます。また、サイエンス委員会では2年以上の歳月をかけた書籍「インプラントの“ヒヤリ・ハット” “あるある” これを知らずして治療するべからず！」を発刊することができました。当初は臨床に即したインプラント治療の臨床マニュアル本を目標に手掛けて編集してきた書籍ですので、テキストブックとしても最適で初心者だけでなくベテランにも非常に有用で、是非ともご活用頂ければと思います。

さて、本年は延期になっていた口腔インプラント専門医試験、ケースプレゼンテーション試験、インプラント専門歯科衛生士試験も始まり、学会も軌道に乗り始めました。日本歯科専門医機構の主導のもと専門医制度も大きく変わろうとしております。このような時こそ皆様方のお力添えが不可欠です。ご支援ご鞭撻の程心よりお願い申し上げます。

今年の干支は壬虎（みずのえとら）です。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年だそうです。当会としても、認定講習会においてはすでにウェイトイング状況となっており、また、新しい試みの「CISJ オンラインナイトセミナー」や第16回全員発表研修会の準備も始まっております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。末筆となりますが、会員の皆様方のご健康とご多幸そして益々のご活躍をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。